

令和4年度 第2回 二俣小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年10月19日（水） 13時10分から15時30分まで
- 2 開催場所 二俣小学校 会議室
- 3 出席委員 太田 佳子、川島 隆史、野尻 愛美子、野中 庸孝
- 4 欠席委員 岩田 早苗
- 5 オブザーバー 栗田 一浩（協働C所長）、松下 予志美（二俣幼 園長）
- 6 学校支援コーディネーター 坪井 理佐雄、武田 友子
- 7 学 校 大石 昌人（校長）、内山 佳乃（教頭）、野中 信彰（教務主任）、  
長嶋 町子（CSディレクター）
- 8 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 9 傍 聴 者 なし

10 協議事項

- (1) 授業参観からの子供たちの様子について
- (2) 学校教育活動についてのビジョンの共有
- (3) 学校支援ボランティア（経過報告、今後の見通し）について
- (4) 学校運営に必要な支援について
- (5) 学校評価について
  - ・仕組みの説明（教育総務課 小川様より）
  - ・評価項目の見直し

- 11 会議録作成者 CSディレクター 長嶋 町子

12 会議記録

司会の内山から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出について

副会長の太田 佳子が議長を行う旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 前回会議録確認

内山から、第1回会議録について確認説明があった。

(3) 授業参観からの子供たちの様子について

- ・タブレットを使い授業を行うことで、ICTが、予想以上に進んでいる。（川島委員）
- ・挨拶できる子が、ここ1～2年で増えてきたように感じる。（川島委員）
- ・専門的な知識・技能のあるボランティアの協力はありがたい。（野尻委員）
- ・学習成果物を、担当教員はいつ点検するのか。（野尻委員）
- ・学調の結果から、理科の定着度が今ひとつである。科学的な体験活動を、もっと取り入れてはどうか。（野尻委員）

- ・道徳の授業で感動した。(野尻委員)
- ・5年生授業でタブレットを使用してリアクションありの表現ができている。  
一方で、黙って人の話を聞く力も身に付けさせたい。(野中委員)
- ・3年生の授業でタブレットを使用し意見できることで使いこなしている。(武田委員)
- ・働く女性が増え、仕事のシフトが決まっていて、急な要望に応えにくい。  
年間予定がもっと早く分かればボランティアにも参加しやすいだろう。  
まだまだ学習ボランティアへのハードルは高い。(武田委員)
- ・先生と児童のやりとりがよかった。デジタル社会についていく力が必要(栗田所長)
- ・タブレットの良さ、使わなくても良い場面等あるのでは？  
ネット社会の怖さを幼いうちから教えてやってほしい。(太田委員)
- ・教師に力があり、声も大きく頑張っている。外国語の指導等担当教員は大変だろう。  
体の成長について以前より体格が大きくなっている様子が感じられる。(坪井委員)

(4) 学校教育活動についてのビジョンの共有

校長から、別紙資料に基づき学校に必要な支援について説明があった。  
(ふるさと学習を行い、ふるさとの未来を考える。)

(5) 学校支援ボランティア(経過報告、今後の見通し)について

コミ・スクだより参考に、現状の各学年のボランティアを行っている状況説明  
壬生の郷歴史講座、町たんけん、読み聞かせ、ボート体験、ミシン、調理実習  
今後の見通し  
学習支援ボランティア (家庭科 ミシン学習)

(6) 学校運営に必要な支援について

音楽、書写等の御協力を頂きたい。  
登下校時の見守り隊の強化、継続をお願いしたい。

(7) 学校評価について

小川様(市教委教育総務課)より教育についての学校アンケートについて説明があった。  
適切な内容のアンケートになるよう評価の見直しを進めてほしい。  
課題を見付け、改善策を探っていきたい。  
授業参観しての感想について情報交換することも学校評価のうちのひとつ。

その他連絡事項等

小川様(市教委教育総務課)より  
学校評価の自己評価の記入について(あらかじめ視点を明確にしておく。)  
令和5年1月末に提出(第3回 学校運営協議会の開催通知に配付)  
司会から、次回会議は、令和5年2月14日(火)午前10時から二俣小会議室で  
開催する旨の連絡があった。